

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
29-55	高等学校	外国語	コミュニケーション英語Ⅲ	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
177 増進堂	コⅢ 341	NEW FLAG English Communication Ⅲ		

## 1. 編修の基本方針

編纂に際しては、次の4点を基本方針とした

- ① 学習指導要領並びに教育基本法第2条第1号から第5号の各号に書かれた目標を実現できるように、素材を厳選するとともに、各素材にその目標を達成するために有効な課題を用意すること。
- ② 生徒の多様な実態に応じて、弾力的な指導や学習ができるように、教科書と付属教材の両方に様々な工夫を盛り込み、教科書と付属教材との併用でも、また教科書のみでも、効果的な指導や学習が可能ないように構成すること。
- ③ 本教科書を用いて指導しながら、多忙な教員でも、新しい指導法や指導技術を学ぶことができる「教師も学べる教科書」にすること。
- ④ 本教科書が用いられる学校が置かれている状況（学校の性格、生徒の学力や学習意欲、教員の英語指導についての考え方など）に応じて取捨選択して用いることができるように構成すること。
- ⑤ ①～④のために、編著者たちのこれまでの多様な英語教育実践と英語教育研究の成果を適切に盛り込み、指導書等で詳しく解説すること。

## 2. 対照表

教育基本法第2条	特に意を用いた点や特色	箇 所
第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 困難な状況に置かれても、信念を貫き通すことの大切さをスティーブ・ジョブズと坂本龍馬の生き方を通して考えさせようとした。</li> <li>② 一般には新たに言語を学ぶ場合、大人は子供にかなわないと考えられているが、その考え方は必ずしも正しくないことを証明した研究結果を通して、真理を求めることの大切さ考えさせようとした。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 28頁、30頁の各本文</li> <li>② 78頁、80頁の各本文</li> </ol>
第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 貧しい人々が自らの工夫や努力で貧困から抜け出す手助けをするために考え出されたマイクロ・ファイナンスについて学び、創造力、自主自立の精神を持つことの大切さを考えさせようとした。</li> <li>② 人に柔軟な思考をさせ、その人の創造力を高めるには、競争させたり、報酬を与えたりすることは却って逆効果であるという実験結果に触れさせ</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 56頁、58頁の各本文、及び142頁のActivity</li> <li>② 98頁、100頁、102頁の各本文</li> </ol>

	ることにより、数値目標優先主義の現代の風潮に疑問を抱かせようとした。	
第3号 正義と責任, 男女の平等, 自他の敬愛と協力を重んずるとともに, 公共の精神に基づき, 主体的に社会の形成に参画し, その発展に寄与する態度を養うこと。	<p>①山火事で両親や家を失った子供たちのニュースを見た5歳の子供の提案がきっかけで、the New York Says Thank You Foundation の設立につながったという実話を通して、力を合わせて助け合うことの大切さを考えさせようとした。</p> <p>②単に一緒にいたり、仲良くすることは友情ではなく、真の友情とは何かを考えさせようとした。</p> <p>③電気、電化製品、自動車を使わず、現代人から見れば不便な生活をしているように見える Amish たちが、困ったときは互いに助け合う生活をしていることを知ることによって、便利さを求める生き方よりも、互いに助け合う生き方の大切さを考えさせようとした。</p>	<p>① 9 頁の本文</p> <p>② 13 頁の本文</p> <p>③ 62 頁、64 頁の各本文</p>
第4号 生命を尊び, 自然を大切に, 環境の保全に寄与する態度を養うこと。	<p>①樹木の働きを再確認させ、また多くの国がそれらを大切にするための記念日を設定していることを通して、環境保全の重要性を再確認させようとした。</p> <p>②ボランティアによるハワイの浜辺の清掃作業からいかにゴミが捨てられているか、また、ゴミを捨てることが自然破壊につながるかを再認識させようとした。</p> <p>③Uluru を例として取り上げて、その土地の発展を取るか、それに伴って生じる環境破壊から環境を守ることを取るか、その二つを両立させるにはどうすれば良いのかを考えさせようとした。</p> <p>④家島を具体例として取り上げて、地域の活性化のために、多額のお金をかけて大きな施設を作り、その結果 環境を犠牲にすることなく、地域の人々が互いに協力し合うことで地域を発展させていくことの大切さを考えさせようとした。</p>	<p>① 11 頁の本文</p> <p>② 17 頁の本文</p> <p>③ 34 頁、36 頁の各本文、139 頁の Activity</p> <p>④ 40 頁、42 頁、44 頁の各本文、140 頁の Activity</p> <p>⑤ 68 頁、70 頁、72 頁の各本文、144 頁の Activity</p>

	<p>⑤創意工夫で、環境を破壊することなく、社会の発展と環境保全を両立することができることを学ばせようとした。</p>	
<p>第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<p>①日米のヒーローであるスーパーマンとアンパンマンを比較して日本人が行動する時とアメリカ人が行動する時の商店の宛て方の違いを学ばせ、異文化理解の一助とした。</p> <p>②日常普通に使われていることばが、異文化を持った人々の間では誤解の元になることを具体例を挙げて示した。また、誤解の元となったそれぞれのことばがなぜその国では用いられるのか、また異なる文化を持つ国ではどのように解釈されるかを示すことにより、異文化理解の難しさと、異文化間での摩擦を解消するには自国の文化を説明する力が必要であることを実感させ、その説明を試みる機会を与えた。</p> <p>③日本古典文学の最高傑作と考えられる『源氏物語』がどのようにして生まれ、そこに筆者である紫式部のどのような思いが込められているかを学ばせ、日本の伝統的文化に関心を持つきっかけを与えようとした。</p> <p>④昔からある粘土団子を用いて砂漠を緑の大地に変えようとする日本のNPOの活躍について知ることによって、国際的貢献への関心を高めようとした。</p> <p>⑤杉原千畝氏が当時の日本政府の命令に背いてまでも、人々を助けるためにぎりぎりまでビザを発行し続けた勇気ある行動が多くの人々を救ったエピソードを通して、他人のための勇気をもって行動することの大切さを学ばせようとした。</p>	<p>① 19 頁の本文</p> <p>② 21 頁、116 頁、118 頁、120 頁、122 頁の各本文、及び、150 頁の Activity</p> <p>③ 50 頁、52 頁の各本文</p> <p>④90 頁、92 頁、94 頁の各本文</p> <p>⑤ 126 頁、127 頁、128 頁、129 頁、130 頁、131 頁、132 頁、133 頁の各本文、及び 151 頁の Activity</p>
<p><b>3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色</b></p>		
<p>英語によるコミュニケーション能力の育成と高校3年生にとって必要な大学入試に対応できる英語力の育成できるように以下のような工夫をした。</p> <p>① 本書は大きく分けて2つのSectionから成る。すなわち、200語までの短い、まとまりの英文を用いてリーディング・スキルを学ぶためのSection1と、そこで学んだリーディング・スキルを用いて、4技能を伸ばしながら学習するための400語前後から800語程度のまとまりのあ</p>		

る英文を読めるようにするためのバラエティに富んだ英文を用意した Section 2 で構成した。

- ② Section 2 の Main Chapters では、左ページの英文の内容を的確に理解できるように、右ページに英文の主題を問うものから要点を問うものへと問題（選択式、日本語あるいは英語で答えるもの、表を完成させるものなど）を用意した。さらに、One more Step として、リスニングによる True or False Quiz、Skill Check として、Section 1 で学んだ「語句の言い換え」、「パラグラフのトピックセンテンス」ほかのリーディング・スキルを用いて英文を理解することを求める問題を用意した。
- ③ Review では、各 Chapter の英文の主題を問う問題、要点を表などでまとめる問題、サマリーの空所補充などにより、全体の内容を英語を通して復習できるように工夫した。
- ④ 文法事項や重要表現は、各 Chapter の本文の学習後、簡潔な解説とともに、練習できるように工夫した。
- ⑤ 英語を「聴く」、「話す」、「読む」、「書く」機会を生徒に与えて、英語によるコミュニケーション活動を経験できるように、Activity には、各 Chapter の英文の内容に関わる発展的な活動を用意した。
- ⑥ Vocabulary を各 2 ページを割いて 3 カ所に設けた。それまでの Chapter で出現した語や先の Chapter に出現する語彙が含む主な接頭辞、語根、接尾辞を提示して語彙の学習と定着を助けるとともに、それらの接頭辞、語根、接尾辞を用いて、未知語の意味の推測練習の機会を設けた。
- ⑦ 各 Chapter の本文の指導は、付属教材に、フレーズリーディングが可能になるワークシートや、リスニングや音声をペースメーカーにしてリスニングしながら黙読する練習が行えるよう、本文を普通に朗読した音声教材と、フレーズリーディングのためのワークシートに入れられたスラッシュと同じ箇所にポーズ置いて朗読した音声教材の両方を用意している。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 担当授業時数表)

受理番号 29-55	学 校 高等学校	教 科 外国語	種 目 コミュニケーション英語Ⅲ	学 年
発行者の番号・略称 177 増進堂	教科書の記号・番号 コⅢ 341	教 科 書 名 NEW FLAG English Communication Ⅲ		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

前半SectionのSkillでは、200語までの短い、まとまりの英文を用いてリ-ディング・スキルを学ぶための構成となっている。後半のSectionでは、Section 1と、そこで学んだリーディング・スキルを用いて、4技能を伸ばしながら学習するための400語前後から800語程度のまとまりのある英文を読めるようにするためのバラエティに富んだ英文を用意した。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容 第2款第3 コミュニケーション英語Ⅱ 2内容, 3内容の取扱い	該当箇所	配当 時数
Skill 1	(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	p. 6-7	2
Skill 2	(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	p. 8-9	2
Skill 3	(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ, エ	p. 10-11	2
Skill 4	(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	p. 12-13	2
Skill 5	(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	p. 14-15	2
Skill 6	(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	p. 16-17	2
Skill 7	(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	p. 18-19	2
Skill 8	(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	p. 20-21	2
Skill 9	(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	p. 22-23	2
Skill 10	(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	p. 24-25	2
Chapter 1			7
①本文 (左頁)	①2(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	①p.28	
②Comprehension (右頁)	②2(1)ウ (2)ア, エ 3(1)	②p.29	
③本文 (左頁)	③2(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	③p.30	
④Comprehension (右頁)	④2(1)ウ (2)ア, エ 3(1)	④p.31	
⑤Review,	⑤	⑤p.32-33	
⑥Activity	⑥2(1)ア, ウ, エ (2)ア, イ, エ 3(1)	⑥p.138	
Chapter 2			7
①本文 (左頁)	①2(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	①p.34	
②Comprehension (右頁)	②2(1)ウ (2)ア, エ 3(1)	②p.35	
③本文 (左頁)	③2(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	③p.36	
④Comprehension (右頁)	④2(1)ウ (2)ア, エ 3(1)	④p.37	
⑤Review,	⑤	⑤p.38-39	
⑥Activity	⑥2(1)ア, イ, ウ, エ (2)ア, イ, エ 3(1)	⑥p.139	
Chapter 3			9
①本文 (左頁)	①2(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	①p.40	
②Comprehension (右頁)	②2(1)ウ (2)ア, エ 3(1)	②p.41	
③本文 (左頁)	③2(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	③p.42	
④Comprehension (右頁)	④2(1)ウ (2)ア, エ 3(1)	④p.43	
⑤本文 (左頁)			

⑥Comprehension (右頁)	⑤2(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	⑤p.44	
⑦Review,	⑥2(1)ウ (2)ア, エ 3(1)	⑥p.45	
⑧Activity	⑦ ⑧2(1)ア, ウ, エ (2)イ, エ 3(1)	⑦p.46-47 ⑧p.140	
Vocabulary Building 1	(2)ウ	p.48-49	1
Chapter 4			7
①本文 (左頁)	①2(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	①p.50	
②Comprehension (右頁)	②2(1)ウ (2)ア, エ 3(1)	②p.51	
③本文 (左頁)	③2(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	③p.52	
④Comprehension (右頁)	④2(1)ウ (2)ア, エ 3(1)	④p.53	
⑤Review,	⑤	⑤p.54-55	
⑥Activity	⑥2(1)ア, イ, ウ, エ (2)ア, イ, エ 3(1)	⑥p.141	
Chapter 5			7
①本文 (左頁)	①2(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	①p.56	
②Comprehension (右頁)	②2(1)ウ (2)ア, エ 3(1)	②p.57	
③本文 (左頁)	③2(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	③p.58	
④Comprehension (右頁)	④2(1)ウ (2)ア, エ 3(1)	④p.59	
⑤Review,	⑤	⑤p.60-61	
⑥Activity	⑥2(1)ア, イ, ウ, エ (2)ア, イ, エ 3(1)	⑥p.142	
Chapter 6			7
①本文 (左頁)	①2(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	①p.62	
②Comprehension (右頁)	②2(1)ウ (2)ア, エ 3(1)	②p.63	
③本文 (左頁)	③2(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	③p.64	
④Comprehension (右頁)	④2(1)ウ (2)ア, エ 3(1)	④p.65	
⑤Review,	⑤	⑤p.66-67	
⑥Activity	⑥2(1)ア, ウ, エ (2)ア, エ 3(1)	⑥p.143	
Chapter 7			9
①本文 (左頁)	①2(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	①p.68	
②Comprehension (右頁)	②2(1)ウ (2)ア, エ 3(1)	②p.69	
③本文 (左頁)	③2(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	③p.70	
④Comprehension (右頁)	④2(1)ウ (2)ア, エ 3(1)	④p.71	
⑤本文 (左頁)	⑤2(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	⑤p.72	
⑥Comprehension (右頁)	⑥2(1)ウ (2)ア, エ 3(1)	⑥p.73	
⑦Review,	⑦	⑦p.74-75	
⑧Activity	⑧2(1)ア, イ, エ (2)ア, エ 3(1)	⑧p.144	
Vocabulary Building 2	(2)ウ	p.76-77	1
Chapter 8			7
①本文 (左頁)	①2(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	①p.78	
②Comprehension (右頁)	②2(1)ウ (2)ア, エ 3(1)	②p.79	
③本文 (左頁)	③2(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	③p.80	
④Comprehension (右頁)	④2(1)ウ (2)ア, エ 3(1)	④p.81	
⑤Review,	⑤	⑤p.82-83	
⑥Activity	⑥2(1)ア, ウ, エ (2)ア, イ 3(1)	⑥p.145	
Chapter 9			7
①本文 (左頁)	①2(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	①p.84	
②Comprehension (右頁)	②2(1)ウ (2)ア, エ 3(1)	②p.85	
③本文 (左頁)	③2(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	③p.86	
④Comprehension (右頁)	④2(1)ウ (2)ア, エ 3(1)	④p.87	
⑤Review,	⑤	⑤p.88-89	
⑥Activity	⑥2(1)ア, エ (2)イ, エ 3(1)	⑥p.146	

<b>Chapter 10</b>			9
①本文 (左頁)	①2(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	①p.90	
②Comprehension (右頁)	②2(1)ウ (2)ア, エ 3(1)	②p.91	
③本文 (左頁)	③2(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	③p.92	
④Comprehension (右頁)	④2(1)ウ (2)ア, エ 3(1)	④p.93	
⑤本文 (左頁)	⑤2(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	⑤p.94	
⑥Comprehension (右頁)	⑥2(1)ウ (2)ア, エ 3(1)	⑥p.95	
⑦Review,	⑦	⑦p.96-97	
⑧Activity	⑧2(1)ア, イ, ウ, エ (2)ア, イ, エ 3(1)	⑧p.147	
<b>Chapter 11</b>			9
①本文 (左頁)	①2(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	①p.98	
②Comprehension (右頁)	②2(1)ウ (2)ア, エ 3(1)	②p.99	
③本文 (左頁)	③2(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	③p.100	
④Comprehension (右頁)	④2(1)ウ (2)ア, エ 3(1)	④p.101	
⑤本文 (左頁)	⑤2(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	⑤p.102	
⑥Comprehension (右頁)	⑥2(1)ウ (2)ア, エ 3(1)	⑥p.103	
⑦Review,	⑦	⑦p.104-105	
⑧Activity	⑧2(1)ア, イ, エ (2)ア, イ, エ 3(1)	⑧p.148	
<b>Vocabulary Building 3</b>	(2)ウ	p.106-107	1
<b>Chapter 12</b>			9
①本文 (左頁)	①2(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	①p.108	
②Comprehension (右頁)	②2(1)ウ (2)ア, エ 3(1)	②p.109	
③本文 (左頁)	③2(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	③p.110	
④Comprehension (右頁)	④2(1)ウ (2)ア, エ 3(1)	④p.111	
⑤本文 (左頁)	⑤2(1)ア, イ	⑤p.112	
⑥Comprehension (右頁)	⑥2(1)ウ	⑥p.113	
⑦Review,	⑦	⑦p.114-115	
⑧Activity	⑧2 (2)ア 3(1)	⑧p.149	
<b>Chapter 13</b>			11
①本文 (左頁)	①2(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	①p.116	
②Comprehension (右頁)	②2(1)ウ (2)ア, エ 3(1)	②p.117	
③本文 (左頁)	③2(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	③p.118	
④Comprehension (右頁)	④2(1)ウ (2)ア, エ 3(1)	④p.119	
⑤本文 (左頁)	⑤2(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	⑤p.120	
⑥Comprehension (右頁)	⑥2(1)ウ (2)ア, エ	⑥p.121	
⑦本文 (左頁)	⑦2(1)ア, イ (2)ア, イ, ウ	⑦p.122	
⑧Comprehension (右頁)	⑧2(1)ウ (2)ア, エ	⑧p.123	
⑨Review,	⑨	⑨p.124-125	
⑩Activity	⑩2(1)ア, ウ, エ (2)ア, エ 3(1)	⑩p.150	
<b>Supplementary Reading</b>			4
①Part 1	①2(1)ア, イ (2)イ, ウ	①p.126-127	
②Part 2	②2(1)ア, イ (2)イ, ウ	②p.128-129	
③Part 3	③2(1)ア, イ (2)イ, ウ	③p.130-131	
④Part 4	④2(1)ア, イ (2)イ, ウ	④p.132-133	
⑤Comprehension	⑤	⑤p.134-135	
⑥Activity	⑥2(1)ア, ウ, エ (2)ア, エ 3(1)	⑥p.151	
<b>Hot Topics</b>	2(1)ウ	pp. 154-159	4
			計 136